

五、やまとことばで体のしくみを考える

「まほろばセミナー」ことはじめ

ミトコンドリア博士 西原克成



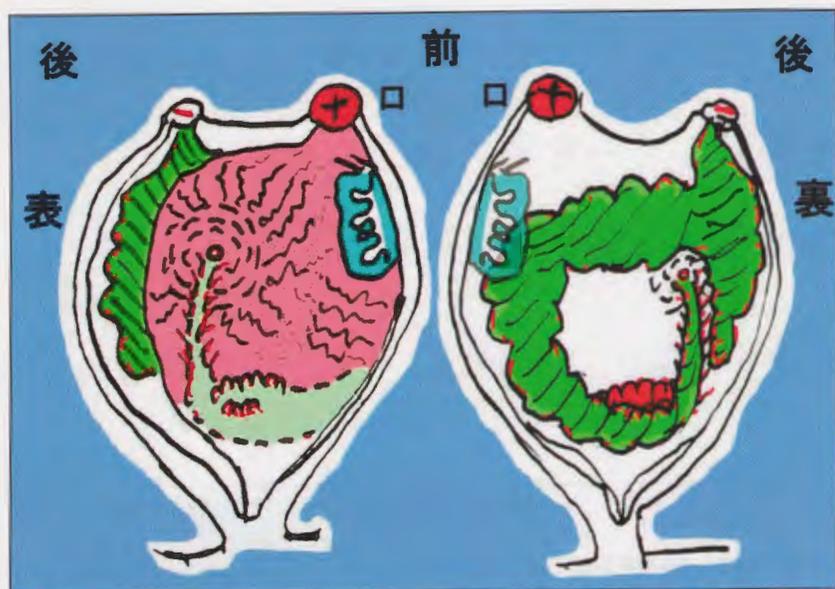
油壺における脊椎動物の体のしくみの研究の成果を
内臓脳とところで考える

右上のホヤの口腔部分に三叉神経の存在を仮想して見て下さい。そしてホヤとサメとヒトの呼吸と摂食の体制とを比較して内臓脳のところで考えて見ましょう。脳脊髄神経系の中で最も大きくて重要なのが三叉神経であり、内分泌腺で最も重要なのが口腔粘膜のラトウケ囊由来の脳下垂体の前葉です。

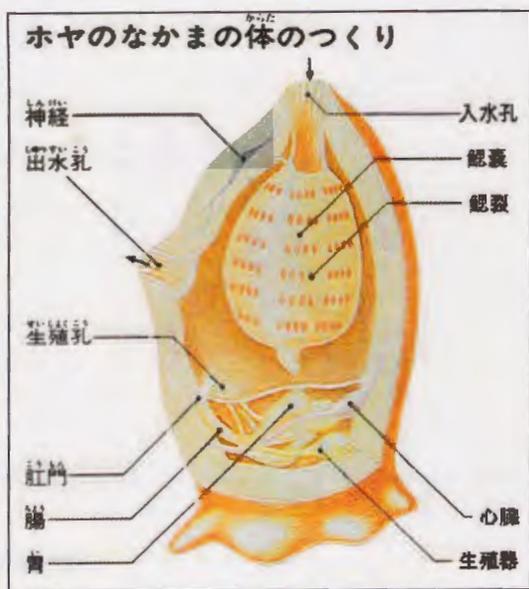
高等生命体のヒトは歯と顎の神経と口腔粘膜由来の内分泌腺の脳下垂体を主導とする体制となっているのです(図4、図5参照)。

※油壺セミナーP13 四 ~ P14の文章を参照

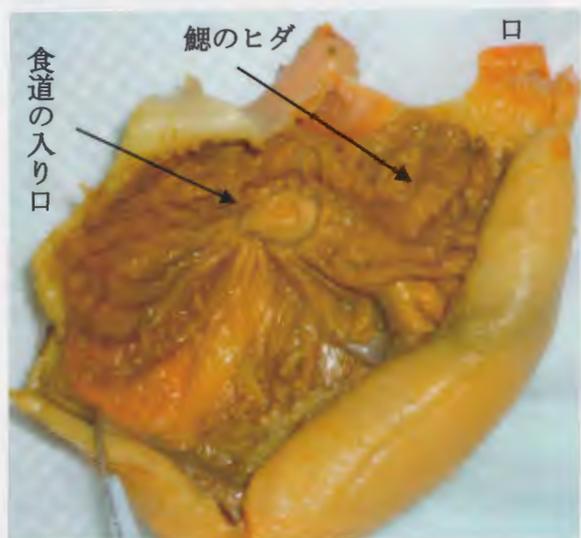
図1



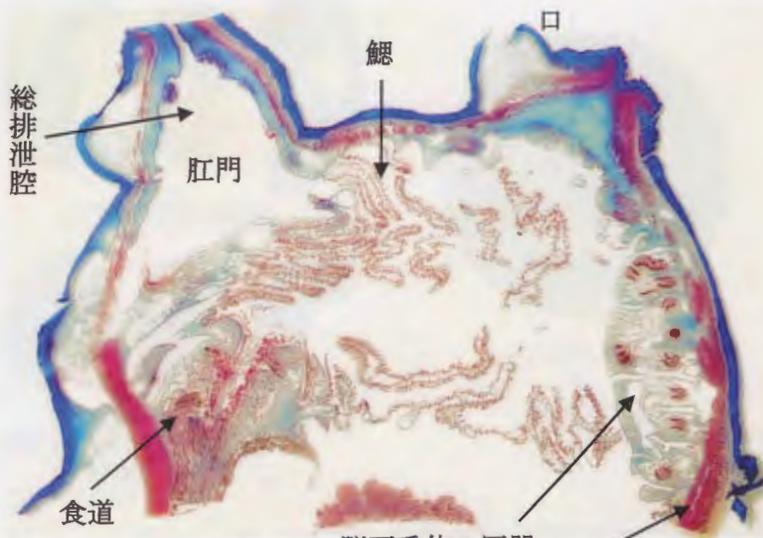
A



B



C

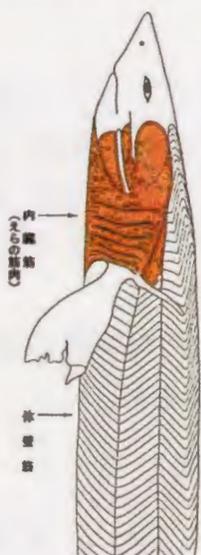


マゴヤの切片

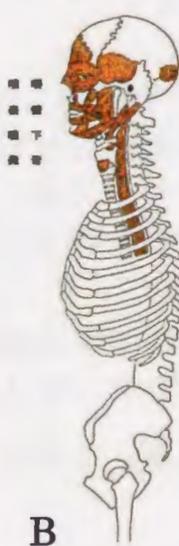
D

脳下垂体の原器
脳神経の原器=筋肉

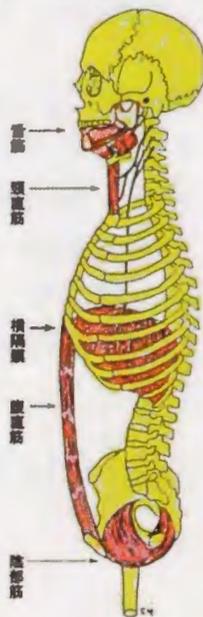
おとぎ話の筋肉



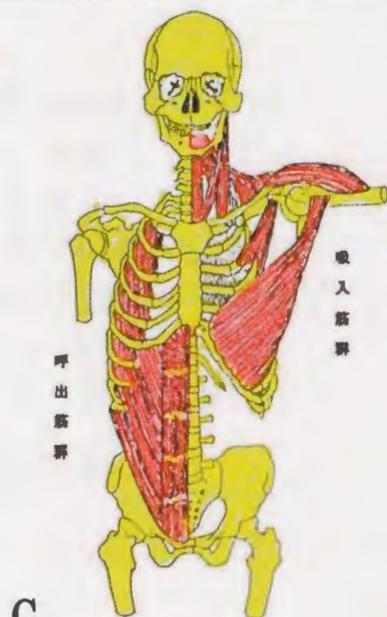
A



B



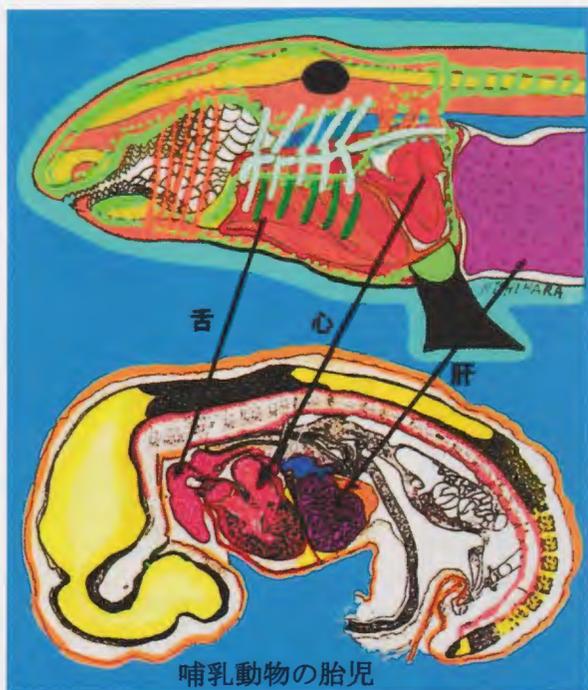
三木成夫



C

従来考えられていた
サメとヒトの鰓腸の筋肉の図

図2

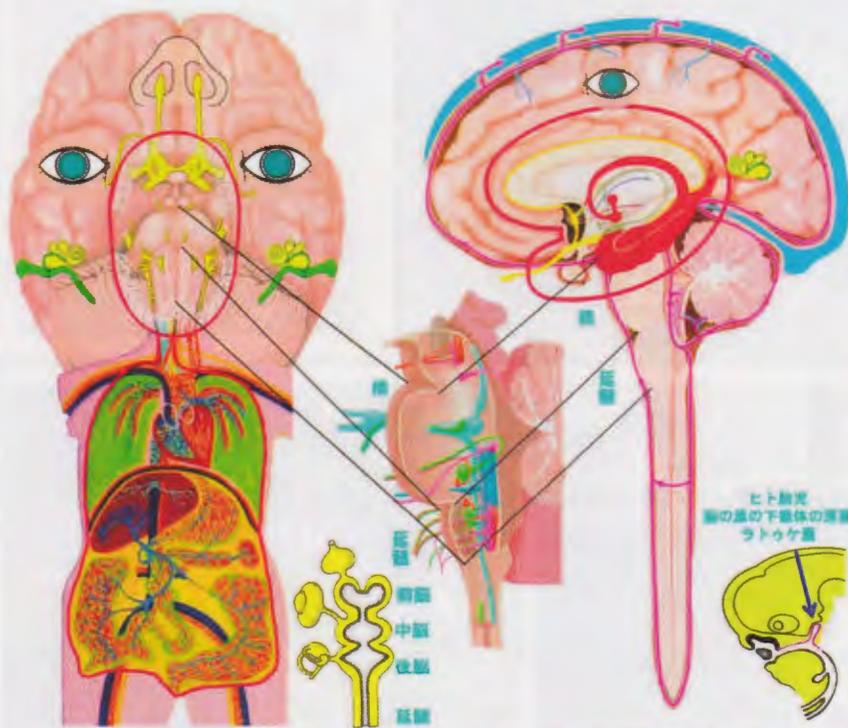
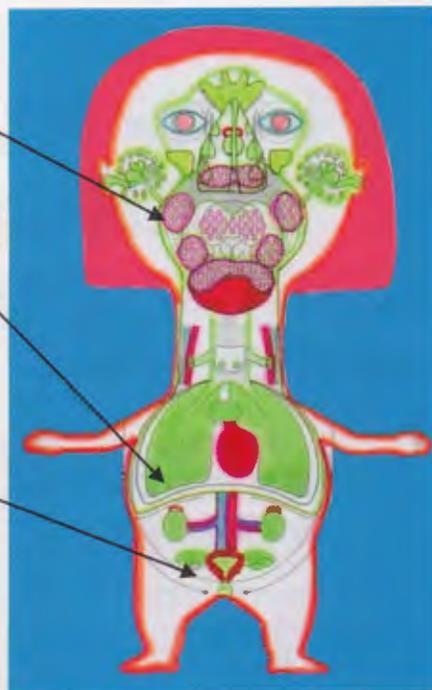
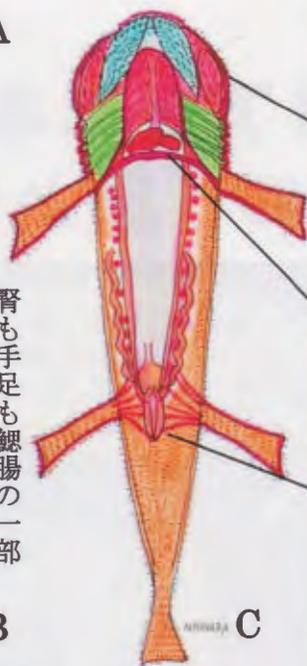


A

腎も手足も鰓腸の一部

B

図3 ネコザメ



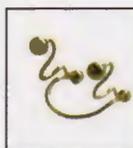
12対の脳神経と筋肉

大脳辺縁系と海馬の図

図4



図5



ノーズリフト



美呼吸トレーナー



美呼吸テープ



ダウンふわふわ枕



かみかみくん



背中元気くん



子供用おしゃぶり

図6